

第十七回
あいちの農業・農村フォトコンテスト

水士里ネット愛知主催による「第十七回あいちの農業・農村フォトコンテスト」に今年度も協賛させて頂いた頂きました。県内各地から「土地改良施設と歩む農業・農村」をテーマに多くの力作三〇七点（一四四名）が寄せられました。

当研究会からは厳選な審査の結果、左記作品を「豊かな農地あいち特別賞」として、安藤会長より表彰状及び記念品を授与させていただきました。

愛知県では肥沃な土地に恵まれていたことから江戸時代初期には県内各地で盛んに大根栽培がおこなわれ、それに伴い漬物づくりも盛んになりました。

本作品は、はざ掛けされる大根の圧倒的な存在感と澄み渡る青空とのコントラストが映える、大根産地の力強さを感じさせる作品です。



「はざ掛け大根」(田原市)
丸山純夫氏 撮影

平成三十一年
賀詞交歓会 開催



進藤議員ご挨拶



会場の様子

本年度も当研究会主催の「賀詞交歓会」を一月十八日にグランクレールに於いて開催しました。

賀詞交歓会には、来賓として参議院の進藤かへひこ議員、愛知県の森岡副知事、愛知県議会土地改良議員連盟の小林副会長、全国水士里ネット会長会議の宮崎まさお顧問をはじめ十五名の御来賓のご臨席を賜り、当研究会会員参加者を合わせて総勢八十六名で盛大に行われました。

安藤会長からは、施設利用者に優しい設計や、若い技術者への技術の継承等、コンサルタントが取り組むべき課題について述べられました。

ご来賓の方々からは、日本の中でも「存在感のある農業」を行っている愛知県で、先人が築いた水利施設を次の世代に継承するため、予算と技術でしっかりと土地改良事業を下支えすることが必要であるという力強いお言葉を頂きました。

平成三十年度
技術研修会 開催

十一月十二日(月)に愛知県土地改良会館大会議室において、愛知県農林水産部、水士里ネット愛知、県農業土木研究会、当研究会会員等、約百二十名の参加者で技術委員会主催の「技術研修会」を開催しました。

講演Ⅰ①「愛知県における農業農村整備の広報戦略について」 農地計画課技師 熊谷祐里 様

広報戦略の必要性、イベントやパネル展示及びパンフレット等の表現方法など近年試みている広報の取り組みなどを紹介いただきました。

講演Ⅰ②「特定農業用管路特別対策事業について」 農地整備課技師 石田進也 様

石綿管の歴史や人体への影響、それに伴う法規制の変遷、事業の成り立ちなどをご説明いただきました。

講演Ⅱ「ため池改修に向けて考えること」 三重大学大学院教授 酒井俊典 様

東日本震災をはじめ、平成三十年七月の西日本豪雨など、近年の異常気象や地震活動による「ため池」の甚大な被害に対し、専門である土資源工学に基づき、調査から堤体の耐震設計及び施工まで、特に注意する点等を具体的にご説明いただきました。



技術研修会

「あいちの農業用水展」が
農業農村整備事業広報大賞 優秀賞を受賞

三月七日(木)に平成三十年度東京フォーラム農村振興研修会(全国農村振興技術連盟主催)にて、農業農村整備事業広報大賞の表彰式が行われました。昨年八月四日(土)開催の「あいちの農業用水展」に関して、開催・共催団体の一員として当研究会が広報大賞優秀賞を受賞致しました。授賞式では、団体を代表して当研究会の安藤会長が全国農村振興技術連盟の林田委員長より表彰状を授与されました。



表彰を授与される安藤会長